

# 東北町議会だより

## 第13号

発行 東北町議会  
編集 東北町議会広報  
特別委員会  
電話 0176-56-3111  
内線 310  
住所 東北町上北南  
四丁目32-484



～ 6 / 26新潟県柏崎刈羽原発視察 ～

### 主な内容

- ・主たる行政報告 ..... 2 P
- ・6月定例会で審議された議案 ..... 4 P
- ・一般質問 ..... 7 P
- ・各種委員会及び協議会の活動 ..... 10 P
- ・委員会報告 ..... 11 P

# 6月定例会 行政報告



佐伯義照さん「瑞宝単光章」を受章

総務課関係

去る4月29日付けで春の叙勲受章者が発表され、本町から、佐伯義照さんが受章されました。

佐伯さんは、七戸職業能力開発協会会長の要職にあつて、地域住民の職業訓練に貢献された御功績が認められ、「瑞宝単光章」を受章されました。ご本人・ご家族は勿論のこと、東北町にとっても大変名

誉なことであり、誇りでもあります。その御功績を讃え、心からお祝いとお慶びを申し上げます。

「小川原湖環境再生計画」内閣総理大臣により認定を受ける

企画課関係

「地方公共団体が自主的かつ自立的な取組みによる地域の活力の再生を総合的かつ効果的に推進するため、地方公共団体が地域再生計画を作成し、内閣総理大臣による認定に基づき、個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現する」と定めた地域再生法第5条第1項に基づき、東北町「小川原湖環境再生」計画を平成20年1月23日付で内閣総理大臣に申請し、3月31日付をもってその認定を受けたところであります。この計画は、小川原湖の水質環境基準を平成24年度を目

標に大幅な改善を図るため、公共下水道事業と浄化槽設置事業を計画的に推進し、その財源は、汚水処理施設整備交付金と合併特例債により安定的、効率的に進めることとしております。

また、小川原湖を活用した誘客、集客を進めるため、小川原湖型グリーンツーリズム事業を合わせて実施することとし、先般5月23日「小川原湖191里づくり協議会」を立ち上げ、豊富な東北町の資源を活用して特色ある地域特産品の開発、育成及び地場産業の振興並びに都市居住者との交流による地域の活性化を推進することとしております。

各交付金の内示について

建設課関係

本年度予定している防衛省関係事業では、去る4月18日付けで、調製交付金の一次配分8864万9千円の内示がありました。

また、5月15日付けで再編交付金の本年度割り当て内示がありました。

全体額5924万6千円の内、約70%、4134万2千円の一次配分となっております。これらについては、今後、

補助申請事務等を行い、事務手続きが完了し次第、順次、発注を進めて参りたいと考えております。

なお、今後、調整交付金の増額を含め、懸案の防衛省関係事業について、東北防衛局並びに本局に議会共々、要望活動を展開して参りたいと考えておりますので、その際には、よろしくご協力の程をお願い申し上げます。

次に国土交通省関係事業であります。すでに、新聞報道等でご承知のことと思いますが、道路特定財源の暫定税率問題に絡み、道路事業の先行きに不透明感があるものの、先般5月14日付けで、国直接要望による地方道路整備臨時交付金に対し、内定通知がありました。

当初要望事業費1億9400万円に対し、1億6千万円の内示がありました。

地域住民から極めて要望の高い生活道路の整備を含め、上北道路の整備促進についても、それ相応の影響が予想されますので、地方の実態、必要性を国に直に訴えるべく、今年度も要望活動を行いたいと考えておりますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。次に、5月12日に三沢防衛

## 【議会の動き】

4月

2日 中部上北議会協議会監事会・理事会

7日 上北中学校入学式

8日 東北町議会互助会役員会

10日 東北町観光協会通常総会

15日 三沢市正副議長挨拶のため来庁

16日 東北町文化協会総会

18日 産業建設常任委員会

19日 東北町議会臨時会

21日 東北町婦人会定例総会

25日 下北総合開発期成同盟会及び下北半島振興促進連絡協議会総会

30日 中部上北議会協議会総会

東北町議会互助会定例総会

5月

1日 東北町学校保健会総会

3日 観桜会

8日 議会広報特別委員会

12日 青森県新幹線建設促進期成会総会

15日 県原子力施設環境放射線等監視評価会議監視



事務所を訪れ、5月2日に八戸市内の路上において発生した、三沢基地所属の米軍人による強制わいせつ事件、5月7日の米兵妻の覚醒剤所持事件を踏まえ、綱紀粛正を求めるとともに、二度とこのような事件が発生することのないよう、東北防衛局長を通し、三沢基地司令官に申し入れをするよう強く要請を致しております。

### 霜などによる馬鈴薯や葉たばこの被害状況

農林水産課関係

5月12日未明から早朝にかけての冷え込みによる霜の被害が、特に馬鈴薯において見られました。

今年の作付面積約150ヘクタールの内、約6割に霜被害が見受けられました。このため、緊急の栽培情報を出して対応を呼びかけました。

その後の追跡調査では、新しい葉や、わき芽の発生により生育は回復してきておりますが、今後の管理について、生育の状況を見ながら適期の培土と計画的な病害虫防除を行うよう指導しているところでありあります。

また、5月26日のひょうにより、葉たばこに被害が見られ

れました。

被害は、菩提寺地区に集中しており、その面積は10・8ヘクタールに及んでおり、収量や品質への影響が懸念されるため、今後の栽培技術情報が出されているところであります。

ながいも洗浄選別・貯蔵施設整備事業につきましては、第4回議会臨時会において工事請負契約締結の議決を賜り、厚く御礼を申し上げます。

今年度予定している建屋建築工事、プラント設置工事は、いずれも発注済で、来年3月の完成を目指し着工しております。

### 東北町桜まつり大盛況

商工観光課関係

東北町桜まつりを4月29日から5月6日までの8日間開催いたしました。

記録的な好天が続く中、開催前に桜が散り始めるかと心配していましたが、会期中に満開となり、8日間好天に恵まれ大盛況に終わることができました。

期間中に実施する野点、地引網体験、夜間照明等のイベントを、経済産業省資源エネルギー庁の支援によるメディア媒体を利用したPRのほか、

町のインターネット等を活用し宣伝に努めました。

その成果により期間中、町内外から6万8千人余りの来場者があり、祭りを大いに楽しめ、東北町の魅力を感じて行ってくれた事と思っております。

そして、花切川へら鮒釣り全国大会では、今年新たな試みで、小川原湖釣り友の会の主導のもと、10数年来10月に放流しておりました「へら鮒」を大会用に直前に放流することに変更しました。

これが功を奏したのか大会参加者は近年にない大物や重量を釣り上げることができ、大会は大成功に終わりました。この取り組みが花切川の賑わいを少しでも取り戻す事ができることと思います。

また、観光シーズン到来前の4月13日に、小川原湖公園の観光地清掃を職員始め、旭町・花向町子供会、高瀬川工事事務所、観光協会、商工会、小川原湖釣り友の会、小川原湖漁協、上北郵便局、県信用上北町支店わかさぎ会、青森銀行上北町支店友和会、小川原湖エコマネー研究会等、300人余りのご協力を頂き、桜まつりを盛り上げて頂きましたことを、この場を借りて感謝を申し上げます。

### 各種スポーツ大会の開催状況と結果

スポーツ振興課関係

5月10日・11日の両日、南総合運動公園で、「東北町誕生記念・第3回東北町長旗争奪、中学校野球・ソフトボール大会」が、近隣から野球8チーム・ソフトボール6チームが参加し開催され、上北中学校がソフトボールで優勝し3連覇を達成、東北東中学校が準優勝、野球では東北中学校が優勝、東北東中学校が準優勝と健闘されました。

5月18日には「第3回町民グラウンドゴルフ大会」が北総合運動公園に約100名の選手、23日には、「第3回東北町高齢者ゲートボール大会」が南総合運動公園・ふれあいドーム上北に16チーム130名の選手が参加し、盛大に開催されました。

また、今月の7日、8日には六ヶ所村を中心に上北郡総合体育大会が開催されます。

東北町チームは15競技・19種目の全種目に273名の選手が出場予定であり、連続総合優勝を目指し、日々練習を重ねております。町民各位のご声援をよろしくお願い致します。

|     |                                                          |
|-----|----------------------------------------------------------|
| 16日 | 委員会<br>上北郡町議会議長会<br>役員会及び定例会（局長合同会議）<br>原子燃料サイクル対策等特別委員会 |
| 17日 | 上北中学校運動会                                                 |
| 18日 | 東北町グラウンドゴルフ大会開会式                                         |
| 22日 | 中部上北広域シルバール人材センター通常総会<br>東北町商工会通常総会<br>上十三法人会上北町支部通常総会   |
| 23日 | 東北町高齢者ゲートボール大会                                           |
| 24日 | 東北町議会臨時会<br>小川原湖エコマネー研究総会                                |
| 26日 | 総務企画常任委員会<br>基地対策特別委員会<br>道路整備促進特別委員会                    |
| 27日 | 産業建設常任委員会<br>東北町防犯協会総会<br>教育民生常任委員会                      |
| 28日 | 上北町商工会通常総会<br>東北町自衛隊父兄協力会定期総会                            |
| 29日 | 産業建設常任委員会<br>議会運営委員会                                     |
| 30日 |                                                          |
| 1日  | 横浜町町政施行50周年記念式典並びに祝賀会<br>青森県町村議会議長会                      |
| 3日  |                                                          |

6月

# 平成20年度 第2回定例会

◎6月定例会

6月定例会は、6月6日招集され11日までの5日間の会期で開催されました。

今期定例会に提出された議案は慎重な審議を経て原案どおりいずれも可決されました。

また、青森県後期高齢者医療広域連合議会選挙を行いました。これは、県内すべての町村議会の選挙における得票総数によって当選人が決定されております。

外蛇沢町内歩道整備に関する陳情については、採択となりました。審議された議案は以下のとおりです。

◎東北町小学生医療費助成事業基金条例案

小川原湖水難犠牲者慰

靈供養

医療保険で医療（入院外）を受けた場合の自己負担に係わる費用を助成し、小生の保健及び生活環境の向上を図るためのもの

全会一致で可決

◎東北町乳幼児医療費給付条例の一部を改正する条例案  
・青森県乳幼児はつらつ育成事業実施要領の改正に伴い、所要の改正をするためのもの

全会一致で可決

◎東北町ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例案  
・青森県ひとり親家庭等医療費助成事業実施要領の改正に伴い、所要の改正をするためのもの

全会一致で可決

◎東北町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例案  
・青森県重度心身障害者医療費助成事業実施要領の改正に伴い、所要の改正をするためのもの

全会一致で可決

◎東北町手数料条例の一部を改正する条例案

・戸籍法及び住民基本台帳法の改正に伴い、所要の改正をするためのもの

全会一致で可決

◎東北町農業集落排水事業受益者分担金条例案  
・旧東北町、旧上北町の統一された分担金を賦課及び徴収する事で、両地区の公平を保ちながら、農業集落排水事業の健全運営を図るためのもの

賛成多数で可決

◎東北町下水道事業受益者負担金条例案  
・旧東北町、旧上北町の統一された負担金を賦課及び徴収する事で、両地区の公平を保ちながら、公共下水道事業の健全運営を図るためのもの

賛成多数で可決

◎東北町営住宅管理条例の一部を改正する条例案  
・暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律の公布に伴い、所要の改正をするためのもの

全会一致で可決

◎東北町監査委員条例の一部を改正する条例案

・地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行に伴い、所要の改正をするためのもの

全会一致で可決

◎町道の路線廃止について  
全会一致で可決

◎町道の路線認定について  
全会一致で可決

◎青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について  
・構成団体であるふるさと交流圏民センター事務組合が平成20年3月31日をもって解散したことにより、青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について

・構成団体であるふるさと交流圏民センター事務組合が平成20年3月31日をもって解散したことにより、青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について

全会一致で可決

◎青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について

・地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行に伴い、所要の改正をするためのもの

・青森県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙について  
・当選  
三津谷 公雄  
（平内町議会議員）279票  
次点  
佐々木 寿夫  
（七戸町議会議員）104票  
東北町議会での得票数  
投票総数13票  
内、無効投票2票  
佐々木 寿夫  
（七戸町議会議員）7票  
三津谷 公雄  
（平内町議会議員）4票

・構成団体であるふるさと交流圏民センター事務組合が平成20年3月31日をもって解散したこと及び青森県市町村職員退職手当組合の現議会議員の任期が平成20年11月30日までとなっており、西津軽郡町村会と北津軽郡町村会の合併により当該議員の選出区域及び定数を変更することに伴い、青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について

全会一致で可決

◎東北町議会委員会条例の一部を改正する条例案  
・東北町行政組織規則の一部改正に伴い各常任委員会所管事項の区分を整理するためのもの

全会一致で可決

◎東北町農業委員会委員の推薦について  
・議会推薦農業委員  
沼山 喜久男  
沼田 徳右衛門  
推薦

◎外姥沢町内歩道整備に関する陳情について  
採択

◎ミニマムアクセス米の輸入停止を求める陳情について  
採択

◎ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書案について  
全会一致で可決



◎医師・看護師等を増やすための法改正、財政措置を求める請願書について  
教育民生常任委員会付託

この改正に急を要したため  
専決処分したもの  
全会一致で承認

◎議員派遣について(国土交通省及び防衛省要望活動並びに視察研修、青森県町村議会議長会主催の議員研修会)  
全会一致で可決

◎閉会中の継続審査について(陳情第2号 水産物荷捌所使用料減免に関する陳情)  
全会一致で可決

この改正に急を要したため  
専決処分したもの  
全会一致で承認

## 平成20年 第4回議会臨時会

5月23日臨時会が開催され、次の議案が可決されました。

◎専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(東北町税条例の一部を改正する条例)  
全会一致で可決

・地方税法等の一部を改正する法律(平成20年法律第21号)が公布され、平成20年4月30日から施行されたことに伴い、東北町税条例の一部を改正する必要が生じ、

◎工事請負契約の締結について  
全会一致で可決

・東北町老人福祉センター改修工事について請負契約を締結するためのもの  
全会一致で可決

◎工事請負契約の締結について  
全会一致で可決

・ながいも洗淨選別・貯蔵施設整備2期工事について請負契約を締結するためのもの  
全会一致で可決

◎平成20年度東北町一般会計補正予算案  
全会一致で可決

◎工事請負契約の締結について  
全会一致で可決

・ながいも洗淨選別・貯蔵施設整備電気設備工事について請負契約を締結するためのもの  
全会一致で可決

◎工事請負契約の締結について  
全会一致で可決

・ながいも洗淨選別・貯蔵施設整備機械設備工事について請負契約を締結するためのもの  
全会一致で可決

◎工事請負契約の締結について  
全会一致で可決

・ながいも洗淨選別プラント製造設置工事について請負契約を締結するためのもの  
全会一致で可決

## 平成20年 第5回議会臨時会

7月16日臨時会が開催され、次の議案が可決されました。

◎平成20年度東北町一般会計補正予算案  
全会一致で可決

・予算の総額に701万9千円を追加し、総額を128億3555万4千円とする  
全会一致で可決

◎工事請負契約の一部変更について  
全会一致で可決

・岩渡沢川改修(1工区)工事について、事業推進に伴い請負代金及び工期限を変更するためのもの  
全会一致で可決

◎工事請負契約の一部変更について  
全会一致で可決

・岩渡沢川改修(2工区)工事について、設計の一部変更に伴い請負代金を変更するためのもの  
全会一致で可決

◎工事請負契約の一部変更について  
全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築(建築)工事について、設計の一部変更に伴い請負代金を変更するためのもの  
全会一致で可決

◎工事請負契約の一部変更について  
全会一致で可決

・東北町立甲地小学校校舎改築(機械設備)工事について、設計の一部変更に伴い請負代金を変更するためのもの  
全会一致で可決

## 平成20年 第6回議会臨時会

7月25日臨時会が開催され、次の議案が可決されました。

◎工事請負契約の一部変更について  
全会一致で可決

・東北町老人福祉センター改修工事について、設計の一部変更に伴い請負代金を変更するためのもの  
全会一致で可決



## 一般質問

三議員  
町政を問う

沼田徳右衛門 議員

質問一

## 少子化対策について

乳幼児医療の給付について20年の10月から県が主体的に2分の1を負担することになるようですが、今期定例会に小学生医療費助成事業基金条

例が提出されています。乳幼児医療給付制度を今のまま4歳から6歳の規模で期間の延長を図るのか、あるいは小中学生まで範囲を拡大して対応していくとする考えなのか、町長の考えを伺います。

答弁

町長

3月の議会で、4歳から6歳までの乳幼児医療について、入院を別にして無料にすることを議決いただいて、4月から実施いたしているところであります。

沼田議員がおっしゃるとおり、県が10月から4歳児から6歳児について約50%を負担するという方向となりました。したがって、その財源を基金として残しながら、小学生全員、1100名余りを対象にこの医療費の無料化を拡大すること、今議会に提案しているところであります。

また、新たに4月から5歳児の健診もやることといたしました。それから、妊婦の健診についても14回まで無料とすることといたしました。町としても安心して産み育てられる環境、そして少子化対策

質問二

## 七戸川及び赤川の下流は早急な整備が必要である

に向けて努力してまいりたいと思っております。尚、中学生まで医療費の無料化を目指して県当局と協議しております。

七戸川及び赤川の現状は、大雨が降れば即水害が発生しそうな状況にあります。河川敷の雑木が大きく、例えば甲地橋付近は橋の欄干までも届いている状態であり、また非常に密生しております。水量がふえるとごみ等によって水流を妨げることになり、大変な事態が発生することになります。

高瀬川の放水路は国の事業で進めているが、我々は身近なところを応急措置的にでも伐採して水害防止に備えていかなければならない。一刻も早く関係方面へ働きかけをして、台風シーズン前に手当てをすべきと思うが、当局の考えをお聞かせください。

答弁

町長

七戸川の改修計画については、昭和55年から平成38年まで約130億の事業計画に基づいて、一步一步進んできているところであります。現在の進捗率が34%であり、今年は5億2千万円の予算執行される予定になっています。いわゆる上天橋から七戸寄りを見れば、今後進めていくことになっております。

赤川につきましては、雑木、土砂、河口の問題等いろいろあります。なかなか厳しい予算の中でありますけれども、20年度は補修、維持管理として県の予算400万がついております。雑木等含めてこれから整備されるということになつておりますので、災害対策に生かせるよう県へ強力に要望してまいりたいと思っております。

最終的には、太平洋と小川原湖の水位の問題があります。高瀬川放水路を、拡幅して調整しながら放水をしていかなければ、幾ら上流、下流で整備しても、結果的にその水位の関係で災害が起きるというところは現実であります。上



蛭沢正雄 議員

質問一

## わが町の小中学校は地震に耐えられるのか？耐震調査の結果と計画を伺う

流も整備しながら下流の雑木等や、河口の付近の整備を含めて、県、国へ要望してまいりたいと思っておりますので、ご理解を賜りたいと思います。

中国四川省大地震の発生により、公共の建物で特に耐震にすぐれていなければならぬはずの学校の校舎が倒壊して、数多くの子供が犠牲者となりました。この地域も40年前に十勝沖地震（震度5）により、建物全壊や半壊、そして三沢商業高校の校舎が二つに折れ倒壊するなど大きな被害を受けました。

小中学校の父兄は子供の安全、安心に対して大きな関心



を持つております。今、同規模以上の地震が発生した場合にわが町の校舎は耐えられるのかどうか非常に心配しております。

先般6月7日の新聞報道で補強工事は今まで2分の1補助だったけれども、これを3分の2やると、改築の場合は3分の1を2分の1に引き上げると、そのぐらい国も本気になって補助するとありました。耐震調査結果が危険校舎と判断されているならば、検討ということではなく、今年度中に計画を策定すべきだと私は思います。

甲地小学校改築、上北中学校耐震補強工事については取り組みが早く本当に安心しておりますが、あとの校舎は築何年経ち、耐震調査はしてあるのか。耐震調査結果で補強工事、改築等々しなければならぬ学校は何校あるのか。またその工事計画を伺います。

答弁

町長

子供たちにとって学校は一日の大半を過ごす学習の場であり、また私ども緊急避難的に災害時のときには避難場所

として指定をしております。そういった意味で、今の学校の状態について非常に心配をしているところであり、調査必要のある校舎については、すべて調査済みであり、優先度の結果は5段階で評価され、その中で一番優先順位が高い1段階にあるのが築47年を経過した小川原小学校であります。優先度2にあたる校舎が第一小学校、上北小学校、姥沢小学校、東北中学校、東北東中学校になっております。

学校の耐震、それに基づく改修、新築については何よりも優先的にやってほしいというのが国の方針であり、現在より補助率を高める予定になっております。

現在、上北中学校を大規模改修しており、ことしの12月に完成する予定であります。この工事は仮校舎を設けないで勉強を続けながら耐震補強を含めて改修しており、この結果を期待感持って見守っているところであり、11月頃になりますとほぼ全容がわかってくると思います。したがって早急にやらなければならぬ状態にある6校について、12月議会のところまである程度の方角性を出し、議会

側の皆さんとも相談をしながらこれからの計画等進めてまいりたいと思っております。子供たちが安全・安心で学べる環境にすることが早急に必要だという判断をいたしております。



市川俊光 議員

質問一  
助産師のもとでの妊婦検診にも無料制度を適応すべきでないか

ここ数年、産婦人科の医師不足が深刻化しています。我が町の周辺でも十和田市、七戸町、野辺地町の公立病院から産婦人科の医師がいなくなり、出産ができなくなりまして。こうした中で、今注目されているのが助産師、助産所であり、今後その役割が大きくなっていくことは確実であると考えます。

我が町では、無料の妊婦健診を昨年度は5回までとし、今年度は14回までとしました。が、この妊婦健診の無料制度は医療機関での健診にのみ適用され、助産師が健診に当たる助産所などでの健診は対象外とされていると聞きました。医療機関であれば14回の健診が無料になり、助産所となると全額を妊婦さんが負担しなければならぬということであるならば、その制度の趣旨からいっても適切でないと思われると思います。また、出産をめぐる状況の変化にも対応していないとも言えます。

町のすぐれた制度である妊婦健診の無料制度が、生まれてくる子供が健やかであることを願って健診を受けられるすべての妊婦さんを対象とし、実施するべきものではないでしょうか。改善を求め、お考えを伺います。

答弁

町長

これは法律的なことだと思えますけれども、いわゆる助産院で、血液検査、超音波による診断はできないようになっております。この法改正がなさ

れないことには、そこをクリアできないということが一つあります。しかしながら医師不足、産科不足により出産できる環境が少なくなってきたことから助産師のもとでも無料制度が適用できるよう前向きに検討していきたい。

質問二  
75歳以上の高齢者は特定健診の対象から除外されているが、町としての対応はどのようなのか

これまで実施してきた老人保健法に基づく健康診断は、40歳以上のすべての町民が受けることのできるものでした。ところが、今度は特定健診制度と変わり、対象は74歳までとされています。これも後期高齢者医療制度導入に合わせて、75歳以上の高齢者はあえて健康診断を受ける必要がないとされたものです。私は、今町が75歳以上の高齢者に対してどのような姿勢で向き合っているのかが大きく問われていると思います。むしろ75歳を超した高齢者こそ、よりきめ細やかな内容での健康診断



が必要なのではないでしょうか。町は、健康診断を実施するに当たっては、75歳以上の高齢者は対象とするのでしょうか、お考えをお聞かせください。

答 弁

町 長

75歳以上の高齢者の特定健診が除外されているということについての町の対応ですが、我が町では希望する場合には健診できるように予算措置を講じており、今後も対応していきたいと考えています。決して我が町は除外していないことを、ご理解いただきたい。

質問三

**後期高齢者医療制度について中止・廃止を求めていく考えはないか？また実施されたことについて所感をたずねる**

後期高齢者医療制度に対して、町内の高齢者の皆さんの間でも、早く死ねということか、死ぬ前に地獄に来たようだと怒りの声、嘆きの声が渦

巻いています。町長は、長年まちづくりに貢献されてきた長寿の皆さんへのこうした声をどう受けとめますか。4月から実施されている後期高齢者医療制度について、どのような所感をお持ちなのか、お答え願います。

私は、こうした75年間生き

たということをもって医療費抑制策の標的にし、医療の内容にまで制約を加えていくという制度は、長年の社会への貢献者に対し、体が弱りやすい年齢に達したということだけで、もういつ死んでもいいですよ、早く死んでくれたら助かると言っているに等しい中身だと感じています。こうしたひどい制度が社会に存在することは許されるものではありません。町長は、高齢者を差別し、どんな高齢者にも重い負担を負わせるこの後期高齢者医療制度について、中止、撤回することを国に対して求めていく考えはありますか、ご見解をお聞かせください。

答 弁

町 長

制度の導入に当たり私ども

が一番困ったのが、性急過ぎるというか、なかなか町民に理解していただく時間的な余裕がないままにスタートしたことでありました。制度そのものを現状の各町村の実態調査の上である程度方向を定められないと、今のように実際スタートしてからいろんな問題が出てきている。報道ではあるが、必ずしも低所得者層に負担軽減がなされている結果にもなっていない。

また、4月から制度がスタートして町の負担が今後どれくらいになるのか、75歳以下の国保の方の医療負担がどういう形にいくのかと、これは多分11月近くにならないとわかってこないだろうと思っております。

国が負担しないで我々に押しつけるという制度そのものは、やっぱり認められない、是正していかねければならないと思っております。私は町村会の役員でもあります、町村会としても低所得者層の負担軽減や制度そのものを見直してほしいという方向で要望活動を国にしておりますので、ご理解いただきたいと思

質問四

**在日米軍兵士・関係者の犯罪への対応について**

5月2日、米軍三沢基地所

属の兵士が八戸市内の路上において強制わいせつ事件を起こし、その日のうちに逮捕されました。5月7日には、三沢基地所属の米兵の妻が覚せい剤取締法違反容疑で県警に逮捕されています。沖縄の少女暴行事件、横須賀でのタクシードライバー強盗殺人事件など、全国で在日米軍兵士、米軍関係者の凶悪事件、不祥事が相次ぐ中で、米軍三沢基地関係者の事件であり、改めて米軍基地が存在することにより、住民の日常に及ぼす大きな問題を衝撃的に受けとめています。たび重なる在日米軍兵士、基地関係者の犯罪は、米軍基地に隣接する地域で暮らす私たち東北町民にとっても大きく不安をかき立てるものとなっています。町として、町民の安寧を乱す者に対しては厳しく対処していく必要があるものと考えます。在日米軍兵士、関係者のかかわる事件、不祥事が続発している今、町としてはこうした事態にどのよう

答 弁

町 長

な態度で臨んでいこうとしているのか、お考えをお聞かせください。

5月7日に仙台防衛局長あてに、米軍の綱紀粛正、安全安心を守るために米軍の指導強化をしてほしい、反省をしてほしいという抗議文書を手渡しております。そして、6日付で米軍の司令官から仙台の酒井局長あてにおわびと、これからの方向・取り組みについて回答がなされております。素早く対応していただいているということを報告します。



# 各種委員会及び 協議会の活動

## ★総務企画常任委員会

| 開催日   | 事 件 (内容)                              |
|-------|---------------------------------------|
| 5月26日 | ① 6月議会提出案件（補正予算・単行議案）の概要について<br>② その他 |

## ★産業建設常任委員会

| 開催日   | 事 件 (内容)                                                                                           |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月16日 | ① 平成19年陳情第13号 外姥沢町内歩道整備に関する陳情について<br>② 平成20年陳情第2号 水産物荷捌施設使用料減免について<br>③ ながいも洗浄選別・貯蔵施設について<br>④ その他 |
| 5月27日 | ① 6月議会提出案件（補正予算・単行議案）の概要について<br>② その他                                                              |
| 5月29日 | ① 6月議会提出案件（補正予算・単行議案）の概要について<br>② その他                                                              |

## ★教育民生常任委員会

| 開催日   | 事 件 (内容)                              |
|-------|---------------------------------------|
| 2月20日 | ① 6月議会提出案件（補正予算・単行議案）の概要について<br>② その他 |

## ★議会運営委員会

| 開催日  | 事 件 (内容)                                                                                                                                                              |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6月4日 | ① 6月定例会付議事件の概要について<br>② 一般質問の通告について<br>③ 請願、陳情等受理状況について<br>④ 請願・陳情等の取り扱いについて<br>⑤ 議員派遣について<br>⑥ 農業委員の推薦について<br>⑦ 青森県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙について<br>⑧ 議会終了後の懇親会について<br>⑨ その他 |

## ★基地対策特別委員会

| 開催日   | 事 件 (内容)                         |
|-------|----------------------------------|
| 5月26日 | ① 防衛省、東北防衛局に対する要望活動について<br>② その他 |

## ★原子燃料サイクル対策等特別委員会

| 開催日   | 事 件 (内容)                                                   |
|-------|------------------------------------------------------------|
| 5月16日 | ①日本原燃六ヶ所再処理工場の事故等について<br>②委員派遣について (柏崎刈羽原発の調査について)<br>③その他 |

## ★道路整備促進特別委員会

| 開催日   | 事 件 (内容)                                |
|-------|-----------------------------------------|
| 5月26日 | ①国土交通省・国土交通省東北地方整備局に対する要望活動について<br>②その他 |

## ★議会広報特別委員会

| 開催日  | 事 件 (内容)                  |
|------|---------------------------|
| 5月8日 | ①議会だより第12号の編集について<br>②その他 |

委員会  
報告

## ○総務企画

## 常任委員会

(5月26日開催)

委員長 沼田 徳右衛門



## 所管事務調査結果

## 財政課関係

最初に財政課では、5月22日執行された、ながいも洗浄

選別プラント製造設置工事について、設計価格約7億のものが4億5千万で落札されたことに關して、これは契約に際し調査もしていると思うが、絶対間違いないか心配であるとの質疑があり、これについては、低入札価格調査委員会において審査し、確約書を徴し、また「日本一のながいも産地である東北町に、わが社の製品を納めてきちつとした施設を作ってみたい。会社の使命がある」ということでしたので、契約の相手方として間違いないだろうと判断したとのことでした。

## 企画課関係

次に企画課では、地域新エネルギービジョン策定事業について質疑があり、これは合併後の新東北町エネルギービジョンを策定するものであり、1つはバイオマス、畜産の部門。それから雪氷冷熱、雪等を利用したもの。それから太陽熱も想定しています。あと1つは風力発電の4つを想定している。新エネルギービジョンの策定委員は八戸工業大学の教授のほか原燃テクノロジセンター、東北電力十和田営

## 税務課関係

次に税務課では、事務的な手落ちのない不納欠損の扱いをしていただきたいとの意見が述べられた。



業所、校長会、商工会、観光協会、農協、漁協、森林組合、NPOの代表など14名の委員をお願いしている。

また、NHKの歌の散歩道について質疑があり、これは、NHKの公開ラジオ番組の収録で、歌手が3名来て、10月24日午後6時半から9時まで町民体育館で公開収録するもので、千人以上の入出を想定しているとのことでした。



## ○産業建設

## 常任委員会

(5月27日開催)

委員長 岡山 柏 男



基づいて実施されているのか見えないとの意見が述べられた。また、現地調査が必要であるとの意見が出され、才市田の圃場整備事業完了に伴う町道の路線認定、町道202号ほか4路線を29日に実施することとした。

## 農林水産課関係

マーが仕様書にうたわれたヒロシ工業製畚洗浄機及びエフ・イ製品のひげ根とり仕上げ洗浄機の納入について入札の段階で契約していないことは、入札の段階で失格だとの意見が述べられた。また、イセキが入札を辞退するなど今回は、競争入札の原理が全くなされていないとの意見が述べられた。

(5月29日開催)

## 建設課関係

町道337号線及び町道認定路線202号ほか4路線の現地調査を実施し、その後、商工観光課について質疑をおこなった。

## 下水道課関係

2万3775円について、恒常的な時間外になっているのではとの質疑があり、これについては調査することであった。また、余剰金の扱いについて質疑があり、これについては資本金と同程度の1、100万円まで積んでいくといったこととした。また、過度な投資にならないようにしていたいただきたいとの意見が述べられた。

## 農林水産課関係

また農林水産課では、なにも洗浄選別プラント製造工事の確約書について報告を求められ、指定機種の納入を裏付ける資料の提出ということに期限をつけて要求しているが、交渉中ということで相手からまだ回答を得ていないとの回答でした。これに対し、

## 所管事務調査結果

## 建設課関係

27日開催の委員会では、建設課について、町道337号線改良舗装工事費の補正予算について質疑があり、これは、住宅の進入路の関係で道路勾配が8%以上となり、防衛の補助事業で実施することができなくなり、やむを得ず合併特例債で対応せざるを得なくなったと説明があり、これに對して、当初計画のなかったものが突発的にでてくる。特例債の計画がどういう計画に

次に農林水産課では、なにも洗浄選別プラント製造設置工事の関係で、入札時の設計図の資料要求があり、設計図書製造設置工事特記仕様書及び確約書が提出された。質疑では、低入札価格調査と確約書について質疑があり、入札が終わったあと入札価格の内訳書等必要な資料を提出していただき、低入札価格調査委員会でも調査を行った。調査委員会においても4億5千万で果して7億の当初設計のものができるのかどうか懸念する意見がだされ、仕様書どおりの納入を約束する確約書が提出されたこと、また、仕様書のものをきちんと納めるということであったので、契約の相手方として間違いのないと判断したとのことであった。これに對し、落札業者のヤン



改良工事が進む町道337号線

質疑では、(株)おがわら湖の業務受託、時間外手当114

次に下水道課では、合併後においても旧旧でそれぞれ立てた整備計画を進めてきている。あの当時と今では、財政的な見通し、集落の環境も変わってきている。また、計画に比べて加入率も悪い。この整備計画の中身を精査し、見直しする必要があるのではないかとこの意見がのべられた。これに對し、国の審査も財政的なこと、利便性・経済性のことまで審査してきていることから、町としても見直しについて考えざるを得ないとのことでした。また、加入率については、乙供地区が約36%で、上北地区では50%を越えているとのことでした。

入札が終わったあと回答が得られない会社と契約することはおかしい。このことについては賛同できないとの意見が述べられた。また、エフ・イなりヒロシ工業を機種選定の前提として、指名業者のどの業者が落札してもこの機種を納めるということを前提で機種選定指定しなかったことが、こういう誤解を招いて、こういう結果になっている。クボタ以外はこの機械納めませんというふうな裏話まで出来上がって、これでイセキがその機械を納める条件がなく、辞退した。ヤンマーもその条件を満たさなければ参加できない。だからクボタが7億3千万という100%に近い札を入れてやっていること事態が不信を買っている。指名の段

階が問題だという意見が述べられた。

## ○教育民生

### 常任委員会

(5月28日開催)

委員長 佐々木 スミヨ



## 所管事務調査結果

### 町民課関係

最初に町民課では、後期高齢者医療の保険料に質疑があり、制度移行に伴う保険料の増減について一人別にデータを作成し、町の実態について調査することとした。

### 保健衛生課関係

次に保健衛生課では、5月7日に上十三保健所から町に連絡のあった結核患者の発生について、その経過及び対応について説明がありました。ケース(患者)は東北町地区の83歳の男性で、病状は3月の7日にせきの症状が出て4月15日から悪化、20日に胸の痛み、22日に発熱した。4月23日から27日まで長野の方に帰ってきておりまして、28日に5月1日に結核と診断された。5月8日午後1時から保健衛生課で上十三保健所所長から患者の概要説明及び感染症の蔓延防止のための接触者リストの作成、及び接触者の対する健康診断説明会開催などの説明を受けた。ケースが町民バスを利用して老人福祉センターを利用していることから、3月7日から3月21日まで町民バス同乗者及び老人福祉センターでの接触者調査依頼があり、調査の結果、接触者は42名(職員・バスの運転手含む)いることがわかった。また、当該ケースが2月13日に地域の先生として現中学校1年生(11名)と6年生(7名)と接触していること、3月22日に水喰小学校の卒業式に来賓として出席の情報を得たこ

とから、5月19日午後1時から当該ケースに関する説明会を水喰小学校で開催した。卒業式当日の来賓26名との接触状況なども調査いたしております。

接触者にかかる今後の対応ですが、5月20日に保健センターにおいて、町民バス利用者、バスの運転手、職員に対して上十三保健所から所長が参りまして説明会を開催した。第1回の検診は5月26日月曜日、上十三保健所で50歳以上の接触者19名の健康診査を実施した。なお、50歳以上の接触者は1回目の検診後6ヶ月、1年、2年と検診をして経過を見ていく。これは、もし感染していれば発病するまでの間2年間で発症しやすいということ、このような措置をとることとした。次に50歳未満の方及び小学生に対しては、6月の5日に採血をして、感染の有無を判定し、陰性であればそれで終了となる予定になっていると報告された。

### 公民館関係

次に公民館では、集会所等建設計画検討委員会について質疑があり、合併当時から旧

旧の集会所施設建設の仕方についてあることから、今後の集会所等建設計画にかかわる統一的な要綱等を検討するため委員会を設置(東北地区9名、上北地区6名)し、違った部分を含めこれから統一してやっていきたいとのことでした。

最後に敬老会について、旧上北と旧東北は運営の仕方が違っていますが、議会の意向も入れ、もし予算以内で実施できるのであれば、年齢を調整できないものかとの意見が述べられた。

## ○原子燃料サイクル 対策等特別委員会

(5月16日開催)

委員長 蛭 沢 正 雄



調査の方法としては、調査事項が専門分野であるため、町側の説明では詳細に欠ける

こと、陳情後の柏崎刈羽原発への委員派遣については、災害復旧の状況とか、議員全員による視察などの意見があり、議会運営委員会並びに議会全体の中で話し合いをすることとし、保留することとした。

また、陳情後の柏崎刈羽原発への委員派遣については、災害復旧の状況とか、議員全員による視察などの意見があり、議会運営委員会並びに議会全体の中で話し合いをすることとし、保留することとした。





## ○主な質疑と回答

**質問**…油漏れについては、部

品の交換などの品質管理がきちんとなされているのでは。点検のシステムはどうなっているのか。

**回答**…油漏れの件ですが、1月1日に油漏れを起こしたということで、2月に専門家によって交換し、その時隙間ゲージをあててテストしてはいませんが、漏れの確認はきちんとやっています。それにもかかわらずこんな初歩的なことが起きるのか、正直言って疑問に思っている。

また、我々この事象を重く受け止めているのは、全く同じ事象でないけれど、同じ制御ユニットで油漏れが元旦にあったこと。また4月に引き続き起きたこと。原因が違いま

につながった訳です。ところがよく分からなかったという情けない状況でして、本当にご指摘のとおりです。この問題につきまして相当重たく受け止めております。

**質問**…バックアップリングの知識のない人が日常点検をしているのか。

**回答**…交換した人とは専門家ですが、日常点検は素人だったと思います。管理上の要因(組織的な要因)については引き続き検討し、安全文化の醸成を図っていききたい。

**質問**…元旦の時よりも装置の重大性ということをもう少し認識すべきでないか。放射能の建屋でないということでなくて、我々はすべてに放射能が充満している施設という捉え方をしています。そういう意味では、技術的にまだ本格稼動する資格を与えるべきでないと捉えています。本格操業したときに同じようなことが出てくる可能性があります。私は心配しているのは、放射能が通っている配管

の接続部分、恐らく出てくる可能性がないわけではない。

**回答**…配管の漏れいは全部感知していますから、そこは大丈夫です。それはないですけど、これは弁解の余地がないです。こういうことが起きて、それを何回も起こせば、皆さんご指摘のとおり信頼がなくなつて、放射線を扱っている建屋でないけれど、「工場、大丈夫か」というようなお話になります。従つて、我々もこの問題は重く受け止めまして、査察用の封印を2回やってしまったということ。この油圧油漏れも

そうですけれど、非常に重たく受け止めております。そういう意味で、もう少し緊張感をもって取り組んでまいりたい。是非、ご理解いただきたい。

**質問**…排風機が全部止まったということとは、気圧が外も内も同じになったというのでしょうか。そういう故障があつてはならないことが原則である。気圧を下げて閉じ込めておくことが機能しないとい

うことは、放射能が外に出るということ。この施設全体でも言えることだから問題視している。

**回答**…今のご指摘のところは、建屋があつて、全部大気圧に比べて低くしている。これを負圧といっている

すけれど、1・5mから2mの鉄筋コンクリートで、外に漏れ出さないように全部主要なものは閉じ込めてある。ガラス熔融炉の部屋全体の負圧管理はちゃんと機能している。そこに設置してある廃ガスを吸引するラインだけの排風機がとまった。だから熔融炉を置いてある建屋は全く正常である。だから外部へ影響がないということはそのうちのことなのです。そこは是非ご理解を。

**質問**…ガラス固化は、今後どういう手順で試験に入ろうとしているのか。

**回答**…アクティブ試験の状況ですが、これは国の方から大きな宿題を頂いております。ガラス固化体の試験が最後の試験段階でして「しっかりと運転方法をちゃんと確立し

て説明せよ」という宿題でございます。ある程度私どもとしては運転方法の見通しが立ちました。

今後国の委員会でご審議頂いてゴーサインができれば、ガラス固化体の試験を再開するという形になると思います。ただ、この排風機の問題が発生したということ、それからガラス固化体の試験もこれからということでございますので、今まで5月

竣工と申し上げてごさいましたけれど、状況が厳しくなっているということで、今後さらにこうしたことを踏まえてスケジュールを見直しまして、今月末までには新しい工程をご説明に上がりたいと考えております。

**質問**…再処理技術は技術的に不安視されているが。

**回答**…ガラス固化の技術はフランスの技術でなく国産の技術で、東海村の動燃の技術を受け継いでやっている。ご説明の機会をいただければ、運転方法についてきちんと説明したいと思ひます。



## 質問

・今日の新聞でもヒラメから2ベクレルの放射線が検出された。だとすれば、本格稼動することによって、この蓄積が数十倍にもなってくる可能性がある。私が心配していることは、我々が生産する農産物に放射線が検出された時に「我々は、どうやればいいのよ」というやり場のない気持ちでいます。ところが我々の農業の問題ですら、残留農薬がちょっとでたくさんで消費者は不買運動をするんです。中国のギョウザもあのとおりです。そういう意味で我々農家は毎日毎日農薬の記録です。ですから、基準値だから云々でないんです、消費者の捉え方は。微量であっても、あそここの物は危ないということになります。それが一番怖い。回答・・・お気持ちは十分わかっています。そういう心配があるが故に青森県は、工場を建てる前の平成元年から放射線のレベルの調査を開始している。当然放射線だから多少出てきます。ただ、どんどん蓄積される性質のもので



刈羽原子力発電所の現地調査

はありません。放射線が出た結果、皆さんへの影響がどうかということ専門家で審査しています。だから多少2ベクレル出たといっても、全く人体に影響ありませんという結論まで、そこでは評価されている。ただ、それが作物への影響とか皆さんへの影響があるかないかが重要でして、そこを評価しようということ、3ヶ月に1回、県の方が評価会議を開いて、それを公表している。我々評価よりも専門の第三者が議論してどうなのかという、その積み重ねが重要だと思っています。

## ○基地対策

## 特別委員会

(5月26日開催)

委員長 森 川 盛 人



## 【要望項目】

1. 岩渡川河川改修及び流域用水路事業の推進について
2. 町道塔ノ沢・輝ヶ丘線道路整備事業の新規路線の延伸について
3. 東横断道(小川原湖高架橋)の建設について
4. 緊急避難道路整備事業の推進について
5. 住宅防音工事指定区域の拡大について
6. 調整交付金の増額と配分の早期実施方について
7. 小中学校校舎・講堂の防音機能及び屋根・内外装等の復旧事業並びに防音事業の採択について
8. (仮称)小川原湖交流センター及び防災広場建設事業の推進について
9. 地上デジタル放送化に伴うテレビ共同受信施設設置事業の推進について
10. 無線放送施設更新等整備事業の推進について

## ○道路整備促進

## 特別委員会

(5月26日開催)

副委員長 田 嶋 悟



町側から、一般国道45号「上北道路」の整備促進並び



防衛省 江渡聡徳副大臣への要望活動

に「上北横断道路」の早期完成に関する要望書について説明があり、委員会において要望事項を検討した結果、下記の事項について、国土交通省ほか関係省庁及び県選出国会議員に対して、要望活動を実施すること致しました。

また、町側からは、町づくりのことですから、是非ご理解をいただいて議員全員で行政と一緒に要望活動をお願いしたいとのことでありました。これについては、議会の各議員はそれぞれが住民から負託された意見をもっている。そうした場合、全て町の事業に賛同してよいという訳に行かない。ですから中身で一致できない部分があるとすれば難しい対応になると思う。全議員でいうことは、当委員会だけの要望活動だけではないということ、そうするとその中に不一致点があれば、その席にそれに反対した者が顔をそろえているということは不自然なことですし、住民からすると「どうして私があなたに負託した内容で活動してくれないのか」ということになる。一致する内容で行動するのであればそれはかまわないが、不一致点を脇において形にできないとの意見が述べ

られた。

### 【要望事項】

1 東北町の自立的発展の核となる一般国道45号「上北道路」の整備促進並びに「上北横断道路」の平成28年度完成に向けては、費用対効果のみで要否を判断することなく、平成21年度においても道路事業予算全体の増額を図り、積極的な事業推進を図るとともに、残る区間の早期事業化を進めること。

2 社会資本整備重点計画に基づき重点的な道路整備を推進するためにも、道路特定財源制度の本旨である受益者負担の原則に背き安易に道路整備以外の目的に流用することなく、その全額を地域にとって真に必要な道路予算整備に充てること。

3 当町は、町民要望の高いきわめて高い生活道路整備等を強力に推進するため本年度から国直接要望（地方道路整備臨時交付金事業）で整備を計画しているところであるが、道路特定財源が一般財源化されると、遅れている道路整備がますます遅れることになる。よって地方の道路事情、自治体財政を十二分にご賢察の上

必要な財源の確保を図ること。



国土交通省への要望活動

### 要望活動並びに視察研修の報告

6月25日から27日までの3日間、要望活動並びに視察研修を行いました。

一日目は、国土交通省東北地方整備局、仙台防衛施設局への要望活動（要望事項は委員会報告のとおり）の後、袖ヶ浦健康づくり支援センターを視察しました。同センターでは、プール・浴槽の加湿と給湯の熱源として地中熱を利用する特長的なシステムを導入しており、従来使われていたボイラーと異なり、燃料を

使用せず、排気ガスも出ない省エネルギーで環境対策にすぐれたシステムであった。また、利用客も当初見込みよりも多いことや、従業員を民間委託にしていることから経営状況も良好であるという説明でありました。



袖ヶ浦健康づくり支援センター

二日目は国土交通省本省、防衛省本省へ要望活動をし、県選出国会議員を訪問した後新潟市内へ移動した。

三日目は柏崎刈羽原子力発電所の現地調査を行いました。これは昨年7月16日に発生した震度6強の新潟県中越沖地震により原子炉が自動停止し、

いまだ運転を再開していない原子力発電所です。説明員によると、所内変圧器の火災や水漏れ、主排気筒モニタからの放射性物質の検出等の被害があつたが、健康や環境への影響は無いとのことでありました。さらに、トラブルに対する改善策や、耐震安全性の評価を行っていくために地質調査も行っているとのことでありました。

### 編集後記

今月は議会だより第十三号をお届けします。

本号は六月定例会の審議内容を編集しましたが内容の一部分を要約しておりますことをご了承ください。

編集委員会では町民の皆様にご覧いただける紙面作りを心がけております。ご意見、ご要望等ありましたら匿名でも結構ですので、ご投稿をお願いします。

|      |           |
|------|-----------|
| 議長   | 長 橋 館 長 吉 |
| 委員長  | 笹 倉 健     |
| 副委員長 | 蛇 沢 正 雄   |
| 委員   | 佐々木 スミヨ   |
| 委員   | 沼田 徳右衛門   |
| 委員   | 森 川 盛 人   |
| 委員   | 岡 山 柏 男   |